

表1

課題 Task	対応ファイル	課題内容
第1回	task 1	コンソール画面に「Hello World」が表示されるまで。
第2回	task 2_1 ① task 2_2 ② task 2_3 ③ task 2_4 ④ task 2_5 ⑤⑥⑧ task 2_6 ⑦ task 2_7 ⑨ task 2_8 ⑩❶ task 2_9 ❷	①コンソール画面に「Hello World」を表示してみよう。ただし変数greetingを定義して、そこに値を代入してから表示すること ②コンソールに1～10まで足した結果を表示してみよう。ただしfor文を使うこと。 ③コンソールに「引数が0なら偽。引数が1なら真」と表示してみよう。if文で表現できる。できればメソッドも用意して。 ④配列を扱ってみよう。任意の配列に値を詰め込んで、その内容をコンソールに表示してみよう。配列に入れる型を色々変えてみよう。 ⑤Communicationというクラスを作ってみよう。 ⑥greetというメソッドを定義してみよう。 ⑦クラスを継承して新しいサブクラスを作ってみよう。職場とか。 ⑧greetというメソッドないでHelloという言葉を受けたら、Helloと返す処理を実装してみよう。 ⑨職場かどうかを判断するメソッドを作って、職場じゃなければ挨拶しないようにしてみよう。 ⑩Communicationクラスに新しく話しかけてきた人が誰か(同僚、上司など)で応答を返すか、例外を返すような処理を作ってみよう。 ❶例外の条件や例外じゃなかった場合にどういった応答を返すかは好きなように作ってOK。メソッドの使い方、if文や例外処理の使い方に慣れてみよう。 ❷例外クラスは自作も可能。何か例外を継承して、勝手に作ってもいいし、既存の例外クラスを使ってもいい。とにかく例外をraiseしてみよう。
第3回	task 3	Webアプリケーションをアプリケーションサーバー上で動作させるまで。
第4回	task 4_1 task 4_2 task 4_3	Ruby on RailsでCRUDのRead処理を実装。
第5回	task 5	AWS上にEC2、RDSの構築。EC2からRDSへの接続確認まで。
第6回	task 6_1 task 6_2 task 6_3	AWS上でELBとS3を利用したアプリケーションの実行環境構築。
第7回	—	//
第8回	task 8	CloudFormationを利用して現在までに作った環境を自動生成する。 但し、アプリケーションのインストールなどは除く。環境のみ。
第9回	task 9	ServerSpecでのテストコードの実装。
第10回	—	//
第12回	task 12	Jenkinsの導入。
第13回	task 13	Ansibleを使った環境設定のコード化。試すことが最優先で内容は後。
第14回	—	//
第15回		
第16回		